

2020年5月1日

株式会社TBM
代表取締役 CEO 山崎 敦 義

LIMEX 製袋の成分分析結果について

株式会社オルタナ（以下「オルタナ社」といいます。）による当社の LIMEX 製袋に関する一連の記事（以下「本件記事」といいます。）について、あらためて関係者の皆様にご報告申し上げます。

本件記事の内容は、本年4月20日付のオルタナ社に対する当社の抗議文にて記載したとおり、当社の製品が「容り法ただ乗り」であるかのような記載を含め、明白に事実と反するものと認識しております。また、当社の LIMEX 製袋の炭酸カルシウム含有量については、当社の協力工場において当社の指示通りの成分にて製造されていることも確認済みであり、当社においても正確性の高い分析手法により分析結果に容り法上の問題が何ら存在しないことを確認しております。

当社においては更に、お客様をはじめとするステークホルダーの皆様に対してご安心頂きますように、独自に複数のお客様の LIMEX 製袋を第三者の検査機関に対し分析の依頼をしておりました。その結果、第三者の検査機関による分析によっても、容り法違反となる測定結果は一切存在しませんでした。なお、オルタナ社から成分分析結果を公表された SPINNS 向けの袋製品については、第三者の検査機関における測定結果が届き次第、当社のホームページで公表する予定です。

これら製造工程での品質管理方法や、第三者の検査機関での測定結果については、当社のお客様や経済産業省に対して随時ご説明をさせて頂いているところでございます。

今後更に第三者の検査機関による調査結果が届くことになっておりますが、それらにつきましても、しかるべくお客様にご説明をさせて頂く予定でございます。

上記のとおり、当社の LIMEX 製品の成分には何らの問題がないにも関わらず、オルタナ社が、当社に何らの事前確認や問い合わせをすることなく、当社のお客様に対し、あたかもお客様が法令違反を犯しているかのような書面を直接送り付けた行為は、到底許容できるものではございません。この点についてはオルタナ社、及び同社の代表者である森氏による明白な不法行為として、今後両者に対し法的措置を含め対応をさせて頂く予定でございます。

す。

本件記事は、世界中で新型コロナウイルスの感染が広がり、我が国内においても緊急事態宣言が発出された直後である4月10日に4件立て続けに掲載されました。外出自粛の要請が行われ、多くの企業が在宅勤務などの対応を図り、苦慮している中での掲載でした。本件記事掲載後、オルタナ社は当社のお客様に書面を送付し、あたかもお客様が容り法違反となり、経済産業省から指導や行政処分、罰金を科されるかのような虚偽の事実を含む内容を一方的に通知いたしました。かかる不当な通知に対処するべく、取引先、お客様、そして、当社の社員がこの危険な状況下において外出することを余儀なくされました。オルタナ社と同社代表である森氏の一連の行為により、どれだけ多くの方々が新型コロナウイルスに感染するリスクが高まったことか、オルタナ社及び森氏は安易に想像できたことと推測します。オルタナ社及び同社代表の森氏が、このタイミングでどのような思いや価値観でこの記事に掲載したか、当社としては全く理解に苦しみます。当社の取引先、お客様、社員をはじめとする多くの方々の生命の危機にも及ぶ可能性があったことを鑑みるに大変遺憾に思わざるを得ません。

以上